

日本福祉教育・ボランティア学習学会 学会ニュース

Japan Academic Association of Socio - education and Service Learning No28 (2005.11.4)

大会テーマ

ともに創ろう共生の社会 被災地からの学び

第11回大会に向けてのメッセージ

日本福祉教育・ボランティア学習学会第11回こうべ大会
実行委員会委員長 和田 進（神戸大学）

こうべの三日間で力強い息吹を飛ばしましょう

1995年1月17日の阪神・淡路大震災以後、こうべは力強く復興を遂げつつあります。10年目の今年は<これからの10年>を展望すべく、多くの復興関連の企画・行事が行われています。命の尊さ、市民の力の重要性を再確認し、平和主義・主権在民・人権尊重を原則とする民主的な社会を創造しようとする力強い息吹が飛ばされています。

どうぞ、神戸においでいただき、こうした息吹をともに感じてください。

しかし、今の日本に目を向けると、いったい人間はどこに追いやられるのでしょうか。社会保障システムの激変のなかで社会的弱者と呼ばれる人々の生活保障は後退し、人々のきずなは、その重要性が指摘されつつも、グローバリゼーションと新自由主義の影響の下、かえって弱体化しつつあるとあってよいでしょう。人々がこうした現実に向け、主体となって社会・生活環境を変革するきっかけを、何処に求めればよいのでしょうか。今こそ、あらゆる人々が主人公となる福祉教育・ボランティア学習の実践が求められているといえるでしょう。この学会は、そうした変化のきっかけを探ろうとする人々がボランティアに参集し、福祉教育・ボランティア学習の意義を確認しようとするものであろうと思います。神戸大学においても、本年、行政・NPO・ボランティア団体・企業・労働組合などと連携して研究を推進しようとする「ヒューマン・コミュニティ創成研究センター」を設立いたしました。微力ながら本学会の使命に供することを願っております。

会場となる神戸大学は、校舎も古く、設備も大会開催には不十分ではありますが、大会におきまして活発かつロマンティックな報告と論議がなされますことを、心から願っております。